

## 2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年10月31日

上 場 会 社 名 ファナック株式会社 上場取引所 東

コード番号 6954 URL https://www.fanuc.co.jp

代 表 者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 賢治

問合せ先責任者 (役職名) 広報・SR部長 (氏名) 行貞 直樹 (TEL) 0555 (84) 5555 半期報告書提出予定日 2025年11月11日 配当支払開始予定日 2025年12月1日

決算補足説明資料作成の有無 : 有 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

## 1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日~2025年9月30日)

#### (1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高	5	営業利	益	経常利	益	親会社株主 する中間約	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	407, 568	5. 1	85, 964	13. 7	107, 905	13.8	79, 820	14. 2
2025年3月期中間期	387, 962	△2.7	75, 588	13. 6	94, 780	10.0	69, 922	9. 4

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 94,580百万円(49.0%) 2025年3月期中間期 63,459百万円(△46.9%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円銭	円銭
2026年3月期中間期	85. 54	_
2025年3月期中間期	74. 17	_

#### (2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	1, 981, 029	1, 785, 886	89. 4
2025年3月期	1, 937, 031	1, 739, 890	89. 0

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 1,770,428百万円

2025年3月期 1,724,545百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金							
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円銭	円銭	円銭	円銭			
2025年3月期	_	44. 51	_	49. 88	94. 39			
2026年3月期	_	51. 33						
2026年3月期(予想)			_	_	_			

- (注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有
- (注) 2026年3月期の期末の配当金につきましては、公表が可能になった時点で速やかに開示する予定です。

### 3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利	益	経常利益	益	親会社株主 する当期純	こ帰属 利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	818, 800	2. 7	175, 900	10. 7	214, 300	8. 9	157, 300	6.6	168	. 57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

### ※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

### (4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

2026年3月期中間期	982, 383, 493株	2025年3月期	995, 418, 885株
2026年3月期中間期	49, 223, 306株	2025年3月期	62, 154, 566株
2026年3月期中間期	933, 145, 200株	2025年3月期中間期	942, 785, 132株

- ※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記述されている業績見通し等の将来に関する記述は、主要市場における製品の需給動向、競合状況、経済情勢その他に不透明な面があり、実際の業績は見通しと異なる可能性があることをご承知おき願います。業績予想につきましては、添付資料3ページ「連結業績予想に関する説明」をご覧下さい。なお、2026年3月期の期末の予想配当金につきましては、公表が可能になった時点で速やかに開示する予定です。

## ○添付資料の目次

1. ≝	i中間決算に関する定性的情報
(1)	連結経営成績に関する説明 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
(2)	連結財政状態に関する説明
(3)	連結業績予想に関する説明 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
2. 中	間連結財務諸表
(1)	中間連結貸借対照表
(2)	中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
	中間連結損益計算書
	中間連結包括利益計算書
(3)	中間連結キャッシュ・フロー計算書
3. 注	記事項に関する情報
(1)	当中間連結会計期間における連結範囲の重要な変更
(2)	中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
(3)	会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(4)	継続企業の前提に関する注記 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
(5)	株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
(6)	セグメント情報等の注記

#### 1. 当中間決算に関する定性的情報

#### (1) 連結経営成績に関する説明

当中間連結会計期間 (2025年4月1日から9月30日まで) における当社グループを取り巻く状況につきましては、 米国政府による関税の影響、それに伴う世界経済への影響、為替変動、地政学リスク等、不透明な要素が多々あり、 総じて予断を許さない状況が続きました。このような中、当社ではセールス、研究開発、工場、サービス、事務、全 ての部門の総力を挙げて拡販や経費削減等に取り組み、業績の向上に努めました。

当中間連結会計期間の業績は、売上高が4,075億68百万円(前年同期比5.1%増)、経常利益が1,079億5百万円(前年同期比13.8%増)、親会社株主に帰属する中間純利益が798億20百万円(前年同期比14.2%増)となりました。

部門別の事業の概況につきましては、次のとおりです。

FA部門について、CNCシステムの主要顧客である工作機械業界の需要は、欧州や内需が振るわなかった国内で低調に推移したものの、インドや設備投資に積極的な産業からの需要が旺盛だった中国で堅調に推移し、当社のCNCシステムの売上は増加しました。これらの結果、FA部門の売上高は1,038億67百万円(前年同期比4.5%増)となりました。

ロボット部門については、国内で自動車関連向けが復調せず、一般産業向けも引き続き需要がまだら模様で、売上が減少しました。欧州も主に自動車関連向けが低調で売上が減少しました。米州については、関税による影響が懸念されましたが、売上は前年同期比並みとなりました。一方、中国ではEV関連向け、一般産業向けが好調に推移し、売上が大きく増加しました。これらの結果、ロボット部門の売上高は1,725億99百万円(前年同期比5.8%増)となりました。

ロボマシン部門については、ロボドリル(小型切削加工機)では、主にインドのIT関連市場で需要が増加し、売上は増加しました。ロボショット(電動射出成形機)では、インドは堅調だった反面、中国での需要減により売上は微減でした。ロボカット(ワイヤ放電加工機)では、欧州、米州、インドでの需要が堅調で、売上が増加しました。これらの結果、ロボマシン部門の売上高は634億82百万円(前年同期比11.5%増)となりました。

サービス部門については、「サービスファースト」の精神のもと、ITを活用したCX(顧客体験)を重視し、顧客満足度の向上をグローバルに推進するサービス体制の強化を図りました。サービス部門の売上高は676億20百万円(前年同期比1.3%減)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

資産合計は、前年度末比439億98百万円増の1兆9,810億29百万円となりました。

負債合計は、前年度末比19億98百万円減の1,951億43百万円となりました。

純資産合計は、前年度末比459億96百万円増の1兆7,858億86百万円となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前年度末比272億83百万円増の 5,293億74百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前年同期比193億76百万円減の1,279億18百万円であり、これは主に売上債権の減少額が減少したことによるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、前年同期比523億33百万円減の467億23百万円であり、これは主に定期預金の払戻による収入が増加したことによるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、前年同期比247億44百万円減の597億47百万円であり、これは主に自己株式の取得による支出が減少したことによるものです。

## (3) 連結業績予想に関する説明

最新の状況および業績の動向等を踏まえ、2026年3月期の連結業績予想については下記のとおりといたします。

通期

(金額:百万円)

	前回発表予想 (2025年7月25日) 【A】	今回公表予想 【B】	増減率 【(B−A)/A】
	807, 000	818, 800	+1.5%
営業利益	159, 500	175, 900	+10.3%
経常利益	196, 300	214, 300	+9.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益	143, 000	157, 300	+10.0%

注) 2025年10月から2026年3月までの期間における為替レートは、平均140円/ドル、165円/ユーロ を想定しています。

# 2. 中間連結財務諸表

## (1) 中間連結貸借対照表

		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	590, 504	638, 633
受取手形	20, 517	20, 237
売掛金	135, 920	132, 825
有価証券	16, 000	30, 800
商品及び製品	116, 143	120, 416
仕掛品	83, 219	78, 004
原材料及び貯蔵品	107, 077	94, 154
その他	18, 396	30, 375
貸倒引当金	△1, 989	△1, 998
流動資産合計	1, 085, 787	1, 143, 446
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	325, 311	329, 832
土地	163, 164	164, 070
その他(純額)	115, 791	103, 489
有形固定資産合計	604, 266	597, 391
無形固定資産	8, 800	8, 676
投資その他の資産		
投資有価証券	192, 214	187, 180
その他	46, 058	44, 383
貸倒引当金		△47
投資その他の資産合計	238, 178	231, 516
固定資産合計	851, 244	837, 583
資産合計	1, 937, 031	1, 981, 029

(単位	五五四)
( == 11/	 $H \cap H \cap I$

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	37, 454	39, 10
未払法人税等	19, 005	21, 22
アフターサービス引当金	9, 085	8, 57
その他	92, 042	85, 71
流動負債合計	157, 586	154, 60
固定負債		
退職給付に係る負債	31, 208	32, 64
その他	8, 347	7, 89
固定負債合計	39, 555	40, 53
負債合計	197, 141	195, 14
純資産の部		
株主資本		
資本金	69, 014	69, 0
資本剰余金	95, 995	95, 99
利益剰余金	1, 585, 779	1, 582, 62
自己株式	△173, 859	△137, 79
株主資本合計	1, 576, 929	1, 609, 84
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14, 795	25, 33
為替換算調整勘定	127, 908	129, 93
退職給付に係る調整累計額	4, 913	5, 32
その他の包括利益累計額合計	147, 616	160, 58
非支配株主持分	15, 345	15, 4
純資産合計	1, 739, 890	1, 785, 88
負債純資産合計	1, 937, 031	1, 981, 02

# (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 中間連結損益計算書

		(単位:百万円)
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	387, 962	407, 568
売上原価	243, 645	251, 960
売上総利益	144, 317	155, 608
販売費及び一般管理費	68, 729	69, 644
営業利益	75, 588	85, 964
営業外収益		
受取利息	3, 405	3, 819
受取配当金	1,746	2, 621
持分法による投資利益	13, 942	14, 725
雑収入	2, 430	2, 671
営業外収益合計	21, 523	23, 836
営業外費用		
固定資産除売却損	151	836
為替差損	704	322
雑支出	1, 476	737
営業外費用合計	2, 331	1, 895
経常利益	94, 780	107, 905
税金等調整前中間純利益	94, 780	107, 905
法人税、住民税及び事業税	24, 062	29, 162
法人税等調整額	△1, 073	△2, 609
法人税等合計	22, 989	26, 553
中間純利益	71, 791	81, 352
非支配株主に帰属する中間純利益	1,869	1, 532
親会社株主に帰属する中間純利益	69, 922	79, 820

### 中間連結包括利益計算書

		(単位:百万円)_
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	71, 791	81, 352
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3, 352	10, 536
為替換算調整勘定	$\triangle 23,717$	14, 277
退職給付に係る調整額	1, 441	410
持分法適用会社に対する持分相当額	17, 296	$\triangle 11,995$
その他の包括利益合計	△8, 332	13, 228
中間包括利益	63, 459	94, 580
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	62, 068	92, 792
非支配株主に係る中間包括利益	1, 391	1, 788

# (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	(単位:百万円) 当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	王 2024年 3 万 30 日 7	主 2020年 9 月 30 日 /
税金等調整前中間純利益	94, 780	107, 905
減価償却費	22, 655	22, 601
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	227	△112
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	165	1,016
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	1, 054	282
受取利息及び受取配当金	△5, 151	△6, 440
持分法による投資損益(△は益)	△13, 942	△14, 725
売上債権の増減額(△は増加)	24, 618	4,002
棚卸資産の増減額(△は増加)	21, 561	17, 597
仕入債務の増減額(△は減少)	△6, 785	8
その他	△8, 859	△8, 623
	130, 323	123, 511
利息及び配当金の受取額	28, 878	29, 780
法人税等の支払額	△12, 528	△27, 025
その他	621	1,652
営業活動によるキャッシュ・フロー	147, 294	127, 918
定期預金の預入による支出	△80, 000	△125, 855
定期預金の払戻による収入	3, 462	90, 000
有形固定資産の取得による支出	△21, 361	△10, 151
その他	$\triangle 1, 157$	△717
	△99, 056	△46, 723
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△40 <b>,</b> 261	△665
配当金の支払額	△41, 493	△46, 554
自己株式取得のための預託金の増減額(△は増加)	-	△10,000
その他	△2, 737	△2, 528
財務活動によるキャッシュ・フロー	△84, 491	△59, 747
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9, 489	5, 835
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△45, 742	27, 283
現金及び現金同等物の期首残高	526, 881	502, 091
現金及び現金同等物の中間期末残高	481, 139	529, 374

- 3. 注記事項に関する情報
- (1) 当中間連結会計期間における連結範囲の重要な変更該当事項はありません。
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示該当事項はありません。
- (4) 継続企業の前提に関する注記 該当事項はありません。
- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、2025年4月23日開催の取締役会決議に基づき、自己株式13,035,392株の消却を行っております。この結果、単元未満株式の増減等を含め、当中間連結会計期間において、自己株式が36,064百万円減少し、当中間連結会計期間末において自己株式は137,795百万円となっております。

(6) セグメント情報等の注記

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)および

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

当社グループは、ファクトリーオートメーション(FA)の総合的なサプライヤとして、自動化による生産システムに使用されるCNCシステムとCNCシステムの技術をベースとしたその応用商品の開発、製造、販売を主な事業とする単一業種の事業活動を営んでおります。

当社グループでは、すべての商品に、CNC、サーボモータが使用されていることから、投資の意思決定は、特定の商品の状況だけではなく、すべての商品の受注・売上、製造の状況により判断しております。

このように、当社グループにおいては投資の意思決定を全体で実施し、事業セグメントは単一であるためセグメント情報の記載を省略しております。